

エアコン用部品の国際間リターナブル化

2010年日本パッケージングコンテスト ロジスティクス賞受賞

改善前の仕様

エアコンに使用されるサービスパーツの輸送は、内容品に合わせて段ボール箱の寸法を決定し、複数個をまとめて、すかし木箱に入れ輸出されていた。



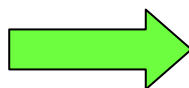
改善への取り組み

- ① 段ボール・木箱の寸法が一品一様のため、都度寸法を決定しなければならない。
- ② 木材のくん蒸処理が必要になる。
- ③ 木箱の包装作業・開梱作業に時間がかかる。
- ④ 現地で木材の廃棄処理が発生する。
- ⑤ 環境対応として、包装材料の減量化の必要がある。

以上の点から **段ボール箱の標準化とリターナブル容器の開発** に取り組んだ。

改善仕様の特徴

- ① 海上コンテナサイズに合わせたスチール製のリターナブル容器であるため、コンテナ内での特別な固定処置を必要としない。
- ② リターナブル容器のサイズを元に段ボール箱をモジュール化した。
- ③ 仕向地により、開梱作業が手作業とバキュームリフトの場合があるため、どちらにも対応できるように側面のパネルを取外すことも、回転して開くこともできる構造にした。



- ④ 返却時は折りたたんで、1/4のサイズになる。



改善の成果

- ① 年間17トン使用していた木材の使用量がゼロになった。
- ② 包装作業・開梱作業時間が1/3に短縮された。
- ③ 釘打ち機を使用しないため、作業場の安全性が向上した。
- ④ 木箱内での段ボール箱の固定に使用していたPPバンドが不要になった。
- ⑤ 初期費用は発生したが、繰り返し使用することで包装材料費のコストダウンができた。
- ⑥ コンテナへの積載効率アップ。